

## 教育研究業績書

日付 2026年3月1日

氏名 高島 修

## 研究分野

金融経済

## 研究内容のキーワード

市場分析、相場予測、金融政策、財政政策、為替レート

## 授業・教育向け業績

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要

## 学術理論的研究業績

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
脱デフレ環境下での外貨投資に関する一考察	単著	2024年8月	証券アナリストジャーナル			脱デフレ環境下における日本国内外の投資資金の動向、その長期的な市場インパクトについて考察した。

## 実務的業績

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
ポストコロナ資本主義と通貨価値	単独	2022年2月	日本証券アナリスト協会			近年の金融財政政策の潮流変化や政治環境の変化を踏まえ、今後の為替相場などの展望について講演した。
構造的円安の背景と今後の展望	単独	2022年12月	政策分析ネットワーク			2022年に加速した円安の構造的な背景の分析と今後の展望に関する考察。2023年以降の長期的な為替相場展望を示した。
2022年の為替相場の振り返りと2023年の展望	単独	2023年1月	日本テクニカルアナリスト協会			2022年に加速した円安の背景の分析や2023年の為替相場展望について講演した。
構造的円安の背景と今後の展望	単独	2023年2月	日本証券アナリスト協会			2022年に加速した円安の構造的な背景の分析と今後の展望に関する考察。2023年以降の長期的な為替相場展望を示した。
円安終焉の必要条件と十分条件	単独	2024年2月	日本証券アナリスト協会			過去数年の円安が終焉に向かうための金融経済的な条件について論じた。2024年以降の長期的な為替相場展望を示した。
構造的円安の背景と今後の展望	単独	2024年4月	日本貿易会			構造的円安の背景の金融経済的な論点を整理し、今後の展望とリスク要因について講演した。
第4回日本実務教育学会研究大会	単独	2024年6月	日本実務教育学会			第4回日本実務教育学会研究大会で実行委員を務めた。
2024年度の為替相場展望	単独	2024年6月	日本テクニカルアナリスト協会			2024年後半以降の為替相場の展望とリスク要因について講演した。
2025年度の為替相場展望	単独	2025年5月	日本テクニカルアナリスト協会			2025年後半以降の為替相場の展望とリスク要因について講演した。
不透明感を増す日米通貨政策	単独	2025年9月	外為市場委員会（フォレックス・セミナー）			円安下で不透明感を増す日米の通貨政策を日銀やFRBの金融政策などとの関係で論点整理して講演した。